

## ニカラグア経済(2011年11月・12月)

2012年1月

在ニカラグア日本国大使館

### 1. 11月の動向

- (1) 11月2日、国連開発計画(UNDP)の発表によれば、2011年の「人間開発指数」ランキングにおいて、ニカラグアは187カ国中129位(前年比14位降下)であった。
- (2) 11月8日、去る6日に実施された大統領選挙に関し、民間企業最高審議会(COSEP)は、最高選管に対し、選挙の透明性を保障するよう求めた。
- (3) 11月10日、ニカラグア中銀の発表によれば、2011年1月～10月までのインフレ率は5.34%(昨年同期は6.88%)であった。
- (4) 11月15日付ラ・プレッサ紙は、米格付け会社ムーディーズが、ニカラグアの信用格付は「B3 安定的」のままであるが、国家制度が抱える欠陥ゆえに債務返済に係る信用度の改善が限定的となっているほか、ベネズエラからの援助に高く依存しているリスクが存在する旨発表したことを報じた。
- (5) 11月19日、ニカラグア中銀によれば、第3四半期におけるニカラグアの輸出額は、第2四半期までの成長率より後退し、前年同期比で14.3%減少した。
- (6) 11月20日付ラ・プレッサ紙は、国連開発計画(UNDP)が発行した人間開発報告書によれば、ニカラグアの18～29歳の失業率は、30歳以上の失業率に比べて2.3倍である旨報じた。
- (7) 11月21日、ニカラグア中銀の第3四半期報告書によれば、2011年1月～9月の貿易赤字は1,791.8百万米ドルであった。
- (8) 11月22日、エルサルバドルにおいて、メキシコ-中米自由貿易協定の署名式が行われた。
- (9) 11月29日、2011年度第二次補正予算案が国会で可決された。補正予算額は、2,976.7百万コルドバ(約130百万米ドル)であり、主に税収増加分の歳入で賄われる。
- (10) 11月29日、IMFミッションは、ニカラグア政府が、2011年度の超過税収の41%にあたる49百万米ドルをニカラグア電力公社(ENEL)のALBANISAに対する負債の返済に充てる見込みであることを明らかにした。

### 2. 12月の動向

- (1) 12月9日、ニカラグア中銀によれば、第3四半期の月間経済活動指標(IMAE)の年間平均は7.2%で、前年同期比で3.3%上昇した。主に鉱業、牧畜業、建設業、工業、商業セクターが経済成長を後押ししている。
- (2) 12月13日、ニカラグア中銀によれば、2010年11月～2011年11月までのインフレ率は7.34%であり、前年同期比でマイナス1.4%であった。
- (3) 12月19日、IMFは、ニカラグアの2010年までの国家開発計画の進捗に関する報告書を発行した。同報告書には、2007年～2010年に行われた貧困対策計画への投資の詳細が記載さ

れており、年間841百万米ドルが貧困対策に利用された。

(4) 12月22日、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(ECLAC)によれば、2011年のニカラグアの経済成長率は4.5%であり、ニカラグアは中米地域内でパナマに次ぐ高い成長率となった。4.5%の成長率は、輸出と家族送金の回復によるとしている。他方、民間企業最高審議会(COSEP)によれば、2011年の対ニカラグアの直接投資額は、900百万米ドルで、過去最高を記録した。因みに、2012年の成長率は3.5%と予想されている。

(5) 12月24日、ニカラグア中銀によれば、2011年1月～10月の家族送金額は741.4百万米ドルで、2010年の送金総額670.5百万米ドルを既に上回った。

(6) 12月26日、2011年1月～11月の輸出総額は2,130百万米ドルであり、主な輸出品目10品(コーヒー、牛肉、金、乳製品、砂糖、落花生、エビ、ロブスター、タバコ、豆)が総額の80%の1,640百万米ドルを占めた。輸出量は減少したものの、国際価格の上昇により、輸出額は上昇した。

(了)